



本 庄

ロータリークラブ会報

率先しよう

No.44-15 第2120回 例会 10月19日 2006年11月 2日 発行

2006~07年度 国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ボイド 第2570地区 ガバナー 鈴木勲二
会長 渋谷修身 会長エレクト 岡崎正六 副会長 下山正男 副会長 立石秀壽 幹事 佐藤賀則

《本日の例会》

職業奉仕月間・米山月間

卓 話

地区米山奨学学友委員長 井上 豊 様
米山奨学生 高 怡瑩(コウ イエイ) 様

進 行 後藤芳生 SAA
点 鐘 午後12時30分 渋谷修身 会長
ソング 「それでこそロータリー」
来訪者 国際ロータリー第2570地区
米山奨学学友委員長(秩父RC)
井上 豊 様
米山奨学生 高 怡瑩 様

【会長の時間】

渋谷修身 会長



皆様こんにちは。今月は米山月間ですので、本日お客様として米山奨学会の2570地区学友委員長であります井上 豊様、そして米山奨学生の高 怡瑩(コウ イエイ)さんにご来訪頂きましたのでご紹介致します。

後程、卓話をお願い致します。本庄RCも昨年度より普通寄付を半期2000円から3000円に年間では6000円に増額しております。特別寄付の方は、神宮委員長から声のかかった方は快く協力して頂きたいと思っております。

さて、私が今年度の会長になる前から、丁度運よく本庄市と児玉町の合併した年ですので、何か将来まで記念として残る様な目に見える物を本庄RC、児玉RCと共同で目玉の事業にしようと考えておりました。高柳社会奉仕委員長のアイデアでソーラー時計が良いのではないかなという事になりました。又、設置場所は将来新

本庄市の中心部になるであろうと思われる新幹線の本庄早稲田駅が良からうという事に決まりまして、また本庄にも本庄南RCもあり、同じく姉妹クラブである上里RCにも入って貰ったらどうかという事になりました。そこで他の3クラブに申し入れて相談した結果、4クラブの共同事業として行う事に決まりました。即ち本庄市児玉郡内の本庄RC・児玉RC・上里RC・本庄南RCの4クラブで新幹線本庄早稲田駅前にソーラー式電子時計を設置し、新本庄市誕生記念として本庄市に贈呈する事に致しました。本庄市との交渉は主に高柳社会奉仕委員長に当たって貰いました。そして現場の工事等については本庄南RCの長沼会長にお願い致しました。

又、贈呈式当日のテント、マイク、椅子等の準備は上里RCにお願い致しました。そして贈呈式の日取りは児玉RCの公式訪問時に合わせてガバナーにも出席して頂くことに致しました。

金銭面では、4クラブが人頭割りでそれぞれ負担することに決めました。従って本庄RCで約半分を負担することになります。

その贈呈式が来週火曜日24日の正午に本庄早稲田駅前で行われます。時間の都合のつく会員は、出席して頂きたいと思っております。これは移動例会でもありませんし、出欠も取りませんし、メンバーカードも出ません。全ては会員の皆様の思いやりの心にかかっておりますので宜しくお願い致します。以上、会長からお願いを兼ねた挨拶と致します。

【幹事報告】

佐藤賀則 幹事



- ・10月12日に鈴木ガバナーのお母様(享年95歳)が逝去されましたので、本庄RCを代表致しまして通夜に参列致しました。
- ・一昨日、本庄ライオンズクラブのチャリティーゴルフコン

ペに当クラブのゴルフ部を中心に8名(任意参加)参加致しました。お陰様で好成績でした。

- ・11月30日第2回ゴルフコンペのご案内の返信にミスプリントがありました。11月9日になっておりますが30日で、岡部チサンカントリーですので宜しくお願い致します。
- ・本庄市書道人連盟より会長宛に11月5日の学生書道展入賞者の表彰式に参加依頼が届いています。
- ・職業奉仕部門研修会(8月5日)の際のグループ別意見交換記録の小冊子が届いています。
- ・本庄市ボランティアセンターより「第7号ぼらんていあ」の資料が届いています。
- ・本庄市社会福祉協議会より評議員1名推薦依頼が届いています。
- ・地区クラブ奉仕部門委員長と広報IT委員長より11月2日に開催されるクラブ広報・会報委員長合同会議のご案内が届いています。

【委員会報告】

★地域社会奉仕委員会 藤井 仁 委員長



先程は、赤い羽根共同募金にご協力頂きまして有難うございました。

赤い羽根もきておりますので宜しくお願い致します。

八木茂幸 プログラム副委員長



今月は米山月間です。本日は卓話をして頂く方にお越し頂いておりますので、神宮米山奨学会委員長よりご紹介とご案内を宜しくお願い致します。

紹介 神宮つぐよ 米山奨学会委員長



今月は米山月間になっておりますので、本日地区役員米山奨学学友委員長(秩父RC)井上豊にお出で頂き、米山奨学生高 怡瑩様(コウ イエイ)様をお連れ頂いておりますのでご紹介

を頂きましてから卓話をお願い致します。
米山奨学事業は全国ロータリアンによる寄付金を財源として、主に日本の大学・大学院で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給しておりますので、米山月間のこの機会に更なる米山事業活動に対してご理解を深めて頂き、ご協力をお願い

致します。目的達成したいと思います。ご寄付よろしくお願い致します。

井上 豊様のプロフィールをご紹介します。

1950年 2月 秩父市生まれ

1968年 県立秩父農工科学高等学校 機械科卒

有限会社 井上成美堂 代表取締役

有限会社 泉企画(秩父インターネット) 代表取締役

1994年1月11日 秩父RC入会

1995～96年 会報雑誌広報委員長

1997～98年 会報雑誌広報委員長

1998～99年 青少年交換委員長

1999～00年 地域発展委員長

2001～02年 幹事

2003～04年 プログラム委員長

地区 米山学友委員

2004～05年 親睦委員長

地区 米山記念奨学委員

2005～06年 社会奉仕委員長

地区 米山奨学学友副委員長

2006～07年 地区 米山奨学学友委員長

井上様、高 怡瑩様のご紹介と卓話を宜しくお願い致します。

卓 話

地区米山奨学学友委員長

井上 豊 様

本年度第2570地区の米山学友委員長を務めさせて頂いている秩父RCの井上豊です。日頃は第4グループのクラブとして大変お世話になっています。

本日は米山月間卓話として、台湾出身の高 怡瑩<淑徳大学>さんと訪問させて頂きました。

このクラブは1963年創立で、高橋バストガバナーはじめ多くのお世話になった方、また多くの先輩地区役員がいる名門のクラブですが、私何の役目もありませんので少しばかり聞いて頂ければと思います。

まず私の役目は、米山記念事業へのより深いご理解と昨年よりも少しでも多くの米山資金援助のご協力アップにあります。昨年度は、皆様のお陰で1542万円(普通寄付490万円特別寄付1052万円)もの大金をお預かりすることが出来ました。心から厚く御礼申し上げます。ご存知のとおり米山記念財団は、1953年に設立されました。(4000万円の基金)以後順調に基金を集めていきましたが、1998年95億円をピークに現在は80億円弱となってしまいました。これは、寄付金が減少する中、奨学生1000名の支援規模を維持するために特別積立金を取り崩しているためです。2005年か

らは、寄付金収入に見合った事業費にするために、奨学生数1000名を800名にし、奨学金単価も17億円から12.4億円に減少して活動している現状ですが、これをなんとか、前の1000名の奨学生数にしようと米山記念奨学会を中心に頑張っているわけです。

全国の地区の高いところは、

2590地区(神奈川県) 26245円/人

2770地区(埼玉東地区) 24302円/人

2780地区(東京神奈川) 20234円/人

2640地区(大阪和歌山) 20173円/人

我が、2570地区は15422円/人でありませぬ。これも大変な金額ではありますが、もう少し皆様にご協力を頂ければと、本年度の2570地区の目標額を17000円ということをお願いにあがっています。

本年度のウィリアム・ビル・ボルドRI会長のテーマは、LEAD THE WAY「率先しよう」です。そして、鈴木勲二ガバナーは、「奉仕とは」思いやりの心、感謝の心といい、「慈愛に満ちた心の奉仕」が大切だといっています。是非、皆様からの米山記念奨学会への資金援助を宜しくお願い致します。

米山奨学生



高 怡瑩(コウ イエイ) 様

今月は米山月間ですので、新たためて名前から自己紹介させていただきます。皆さん今日は、米山奨学生の高 怡瑩と申します。台湾出身です。世話クラブは和光ロータリーで学校は淑徳大学の現在は院生2年生です。専攻は国際文化で、論文の研究テーマは台湾人日本語学習者が起こしやすい発音の誤り現象です。

私は高校時代から日本語を勉強しはじめました。最初はただ精一杯勉強しようという気持ちで日本語を学んできましたが、勉強する時間の増加に従って日本に対して認識もより深くなってきました。次第に日本語の習得だけでなく、日本の歴史や文化などにも更に興味を持つようになりました。

高校卒業後、日本語を専攻するため、大学の応用日本語学科に入学しました。長い時間、日本語を学んできましたが、学校以外の場所ではなかなか日本語を話す機会がなくて、日本語を学ぶことは私にとって正確な路なのかと言う思いになり、悩んできました。

2003年(平成15年)頃、私の大学と日本の姉妹学校との交換留学するきっかけで、私は初めて日本にきました。交換留学の生活はわずかの半年しかありませんが、私はすごく運が良く、父の仕事の関係で知り合った静岡にいる日本人のおじさんとお婆さん、私はいつもお父さん、お母さんと呼んでいる方が私を自分の家族

のように支えてくれました。その間にもそちらへ伺いまして、一緒に日本人の生活を体験させて頂きました。それに、祭りも一緒に参加したり、着物も着たり、またいろんな知識も教えてもらったり、本当にありがたかったです。彼らとの交わりの中で、日本人が持つ思いやりの心にも惹かれました。

短期留学が終わってから母国の大学に戻り、大学の先生に自分の留学経験を話し、大学卒業後の進路を考えていく中で、先生にもう一度日本に留学したらいいのではないかと進められました。両親と相談して父も母も応援してくれましたので、2005年3月再び日本に留学してきました。私は日本にいるため、台湾の家族や友達など、周りの人にも日本のことを興味深くなってよく私に日本に関する話を聞いてきました。私は説明が出来るように、自分の周りの小さなことでもよく気を配るようになりました。例えば先週、私と台湾から日本に遊びに来た友人が家の近くのスーパーへ買い物に行き道を歩いている時、消防自動車のサイレン音が聞こえました。すると、運転中の車が全て外側によって止まってしまいました。友人がおかしいなと思って私に聞いている時、消防車が一台向こうから走ってきました。「ああ、なるほど!これは台湾で起こったら消防車の後ろをきつと他の車が着いてくるだろう」と言いました。これは友人と私の冗談話ですが、日本人がルールを守ることを私は友人とすごく感心しました。そして、いい印象が残りました。

今日の卓話について、どんな内容の話をしたらいいのか色々考えましたが、実は私は人の前で話すことがとても苦手ですので、いっぱいメモ作りました。今年の一ヶ月頃、学校から米山奨学生の試験に合格した知らされた時、この様な話も聞かされました。「米山の奨学金は他の奨学金より厳しいですよ。毎月、例会に出なければならぬし、レポートやスピーチもありますよ。あなたはどう思いますか?大丈夫ですか?」最初私はちょっと迷っていて台湾の両親に電話をしました。父は安易に奨学金をもらうことより、これらのことをやってあなたが成長する方がいいじゃないと言いました。

皆様のお陰で、私と他の留学生たちは安心な生活、勉強が出来、また秩父音頭祭りや米山記念館研修旅行など色々な珍しい活動が体験でき、私達は心から感謝の意を申し上げます。毎月、私は世話クラブの例会を出る時、クラブのおじさんたちが元気なクラブの活動を討論する姿を見て本当に感動しました。

将来は自分も皆様のように社会に貢献することをやりたいと思います。力が弱いかもしれませんが、皆様が私達を支えてくれる同じ気持ちを持ってがんばりたいと思います。以上です。下手な日本語ばかりで申し訳なかったですが、ご清聴ありがとうございました。



10月24日はソーラー時計(早稲田)の贈答式です。時間の許せる会員の皆さん、出席しましょう。

(同文にてご投入頂きました)

茂木 聡 岩淵富男 渋谷修身 茂木 正
 岩本英人 江原栄一 黒岩三雄 八木茂幸
 笠原 勝 山田喜一 金子 弘

加藤玄静

「本庄市仏教会講演会」では多くの聴聞ありがとうございました。

坂本雄一

早退します。

報 告 春山茂之 アイバンク副委員長



月曜日に突然アイバンクより電話があり深谷地区で献眼者が出たという連絡で、その時に理事長と県知事の感謝状が出るのでそれをその月曜の通夜で読んで欲しいとの依頼でした。

その献眼者は以前からの登録者で、息子さんの目が悪くお母さんが亡くなったら献眼したいとの事でした。両眼を提供して頂いたので栗原病院で1名、埼玉医大で1名移植ができました。

本日投入金額合計 33,000円

[ニコニコボックス] 塚越 茂 委員長

(順不同・敬省略)

地区米山学友委員長 井上 豊様

本日は、米山月間卓話例会で奨学生の高 怡瑩さんと一緒に訪問させて頂きました。米山への皆様のご協力よろしくお願ひ致します。

[出席報告]

渋澤健司 委員長



米山月間です。井上 豊米山奨学学友委員長、高怡瑩さん卓話をよろしくお願ひします。

(同文にてご投入頂きました)

渋谷修身 佐藤賀則 加藤玄静 神宮つぐよ
 橋本恒男 春山茂之 岡崎正六 野村正行
 矢島淳一 立石秀寿 田中 克 竹並栄一郎
 野澤章夫 塚越 茂 斉藤清一 五十嵐敦子
 中村 孝

会員数	出席免除 会員数	出席義務 会員数	出席 会員数	出席率
79名	9名	70名	39名	57.1%

メーカー数1枚

広聴広報委員会 岩本英人・笠原 勝・戸谷清一・岩堀 薫

■例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 ■事務所 埼玉グランドホテル本庄 700号
 〒367-0041 本庄市駅南2-2-1
 TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

■例会場 埼玉グランドホテル本庄
 Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp
 ホームページ
<http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>